

「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」をスタートしました!!

市教育委員会では、特別支援教育を受ける子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びの実現を目指しています。

そこで、今年度新たに、特別支援教育担当教員がMicrosoftのTeamsを活用して、互いに実践について相談したり、指導事例を共有したりしながら授業力を高め合う「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」をスタートしました。



さいたま市特別支援教育フォーラム —さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表—

オンデマンド開催

個別最適な学びを目指して取り組んだ「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」の実践を報告し、本市の特別支援教育の推進・普及を行うことを目的に「さいたま市特別支援教育フォーラム」をオンデマンド配信で開催しています。ぜひご視聴ください。

配信期間: 令和4年1月20日(木) 9:00~2月28日(月) 17:00
 URL: <https://www.city.saitama.jp/003/002/017/007/p085695.html>
 対象: 市立学校教職員、保護者、教育関係者、学生など
 ※参加を希望する方はどなたでも視聴していただけます。



実践発表の動画コンテンツ 実践事例集 参考資料を配信中!!

「さいたま市特別支援教育フォーラム」では、5つの研究チームによる実践発表の動画コンテンツ、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室を担当する教員が作成した約200点の実践事例、通常の学級の授業における特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援に関する参考資料等を配信しています。

■さいたま市特別支援教育フォーラムの内容

■教育長挨拶	
■行政説明 「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」について	
■実践発表	
特別支援学校 肢体不自由児への入出力支援装置の活用 ICTを活用した合理的配慮	特別支援学級 個別最適なワークシートの活用 教師の働き方改革
難聴・言語障害通級指導教室 学習評価におけるICTの活用 メタ認知を促すICTの活用	発達障害・情緒障害通級指導教室 コミュニケーションツールとしてのICT活用 通級指導教室と通常の学級との連携
通常の学級	個別最適な学びと合理的な配慮

○次の資料も公開しています。
 ・「特別支援教育担当教員による実践事例集」(約200事例を掲載)
 ・「通常の学級の授業における個別最適な学びを目指した特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援に関する参考資料」

【(1) 指導事例: ねらいと実践内容】

事例1: Aさん

【実践発表の動画コンテンツの例】

令和3年度

さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表

さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表

【実践発表の動画コンテンツの例】

令和3年度

さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表

さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表

【特別支援教育担当教員による事例集】

令和3年度 最先端イノベーションプログラムOnlineを開催しました

教育委員会では、市立高等学校「特色ある学校づくり」の取組として、市立高等学校からの希望者を対象とした、トップリーダーとして活躍できる世界的な視野と豊かな国際感覚を備えた人材の育成を目指す「最先端イノベーションプログラム」を実施しています。今年度はコロナ禍で渡航はできませんでしたが、新たに「最先端イノベーションプログラムOnline」として、オンラインでさいたま市とシリコンバレーを結び、3日間のプログラムとして実施しました。

日時: 令和4年1月26日(水) ~ 28日(金)
 場所: 大宮北高等学校
 参加者: さいたま市立高等学校の生徒21名

事前研修 大宮国際中等教育学校のネイティブ教員による語学研修や、オンライン上での効果的なコミュニケーションについての研修を実施しました。また、参加生徒は、「デザインシンキング」の手法を学び、現地の起業家に作成したビジネスプランを英語で提案できるように、準備をしました。

DAY 1 (1月26日) CNN「10人のビジョナリーウーマン」に選ばれた女性実業家・堀江愛利氏に、自身の信念と、起業時に直面した問題やその向き合い方について伺いました。また、Google社員Kenneth Lau氏と元Google社員で現在は楽天に勤める青島諒氏が登壇し、日本とシリコンバレーの違いについて話をいただきました。



DAY 2 (1月27日) スタンフォード大学の学生とトークセッションを実施し、大学での学びや将来の目標について意見交換しました。続いて、スタンフォード大学のスティーブ・マーフィ重松教授による、シリコンバレーを支えているリーダーシップマインドについて講演していただきました。



DAY 3 (1月28日) スタンフォード大学d-school卒業生の起業家Joseph Makokha氏を含む2名の現地起業家の前で、作成したビジネスプランをプレゼンテーションしました。その後、起業家からフィードバックを受けるとともに、起業と社会貢献について話をいただきました。

このプログラムを通して、様々な分野でグローバルに活躍するリーダーとなり、イノベーションを引き起こすことができる人材を市立高等学校から輩出してまいります。

教育長室の窓から

新しい年が始まり3学期がスタートしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。「まん延防止等重点措置」の区域も全国的規模に拡大され、再び各学校での活動を制限せざるを得ない状況となっています。これまでの各学校での感染防止に向けた日々の対応に、あらためて感謝するとともに、これまでの経験や知見をもとに感染対策の一段の強化をお願いします。そして、感染対策と教育活動の両立をめざし、ICTを積極的に活用し、既存概念にこだわることなく、様々な教育活動の展開にチャレンジしてまいりましょう。

編集後記

教育委員会だより第25号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。
 【第25号編集担当】 管理部教育政策室 048-829-1626



令和3年度教育委員会表彰

令和4年1月4日(火)、ときわ会館5階大ホールにおいて、教育委員会仕事始めの式に引き続き、感染症対策を徹底した上で表彰式を行いました。



教育功労賞

教育行政・学校教育の振興発展に尽力し、その功績が特に顕著な10名の方を表彰しました。表彰者は以下のとおりです。

高崎 修	副教育長
平沼 智	学校教育部 部長
佐藤 浩市	館岩少年自然の家 参事兼所長
引間 和彦	尾間木小学校 校長
高後 仁	仲町小学校 校長
石井 寛	大宮小学校 校長
豊島 登	大宮東小学校 校長
田邊 泰	岸中学校 校長
坂田 真澄	大宮南中学校 校長
松戸政世史	岩槻中学校 校長



優秀教職員表彰

資質に優れ模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている、7名の教職員と2校の教職員組織を表彰しました。表彰者は以下のとおりです。

尾間木小学校	加藤 昭子 (音楽科)
大砂土小学校	田村 恵 (特別支援教育・教育相談)
上落合小学校	小林 加奈 (学校給食)
大谷場中学校	伊藤 真弓 (学校保健)
大宮南中学校	高藤 友輔 (美術科)
浦和中学校	鈴木 恵 (特別活動)
大宮国際中等教育学校	佐々木優介 (国語科)
大宮北高等学校	

スーパーサイエンスハイスクールを核とした教育活動
大宮国際中等教育学校 国際バカロレアMYP認定取得



教育委員会職員表彰

日々の職務に真摯に取り組み、他の職員の模範となる職員として、各部等から推薦された6名の職員を表彰しました。



表彰者は以下のとおりです。

桑原 薫	教育財務課 主査
辛嶋 美香	教職員人事課 主任
小暮 長樹	生涯学習振興課 主事
釜口 雅子	大古里公民館 主査
市川 健次	大宮西部図書館 業務主査
丸山 世津	原山中学校 業務主任

